

研修名	特別課程 まちづくりDX【PLATEAUの基礎と実践】《新規》【ハイブリッド】 (令和6年度～)					事務	技術
						○	○
目的・重点事項	<p>国土交通省では、豊かな生活、多様な暮らし方・働き方を支える「人間中心のまちづくり」を実現するため、基盤となるデータ整備やデジタル技術の活用を進め、まちづくりの在り方を変革することで都市における新たな価値創出又は課題解決を図る「まちづくりDX」を推進しており、スマートシティや3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化「Project PLATEAU」等に取り組んでいる。</p> <p>本研修は、3D都市モデル等のまちづくりにおけるデジタル技術を活用して地域課題を解決し、また、新たな価値を創出するための視野・発想を身につけるとともに、研修員と有識者、研修員間の交流・ネットワーク形成を通じて、まちづくりDXを担う人材を育成することを目的とする。</p> <p>以下の点を重点項目とする。</p> <p>① 3D都市モデル等まちづくりにおけるデジタル技術の現状・有用性やスマートシティ推進に向けた取組等、まちづくりDXに関する基礎的な知識の修得</p> <p>② 3D都市モデル(PLATEAU)の基本的な操作や活用方法の理解</p> <p>③ まちづくりDXの最前線の現場視察・体験を通じた視野・発想の拡大</p> <p>④ ワークショップや課題研究等を通じたまちづくりDXに係る実践力の構築</p>						
対象者	国土交通省、都道府県、政令指定都市、特別区、市若しくは町村の職員又は都市再開発などまちづくりに携わる民間企業、団体						
定員(人) ※目安	国土交通省	他府省	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計	
	10		15		10	35	
研修期間	34.5時間 8日間			令和6年 7月24日(水)～ 令和6年 8月2日(金)			
カリキュラム内容 (予定時間)	<p>1. 講義(14.0) まちづくりDXの意義や最新の取組状況、まちづくりDXの実践、3D都市モデル(PLATEAU)を活用したまちづくりワークショップ等</p> <p>2. 課題研究(11.0)</p> <p>3. 現地視察(8.0)</p> <p>4. その他(1.5) 入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス</p> <p style="text-align: right;">計 34.5</p>						
前年度からの 主な変更点							
担当 国交大・本省	国交大：計画管理部 企画情報科 (TEL：042-321-7074) 本省：都市局 都市政策課						
備考	テキスト代：未定 オンライン：7月24日～7月26日、集合：7月29日～8月2日						